

令和3年度吹田市障害者相談支援事業等委託業務1次評価結果

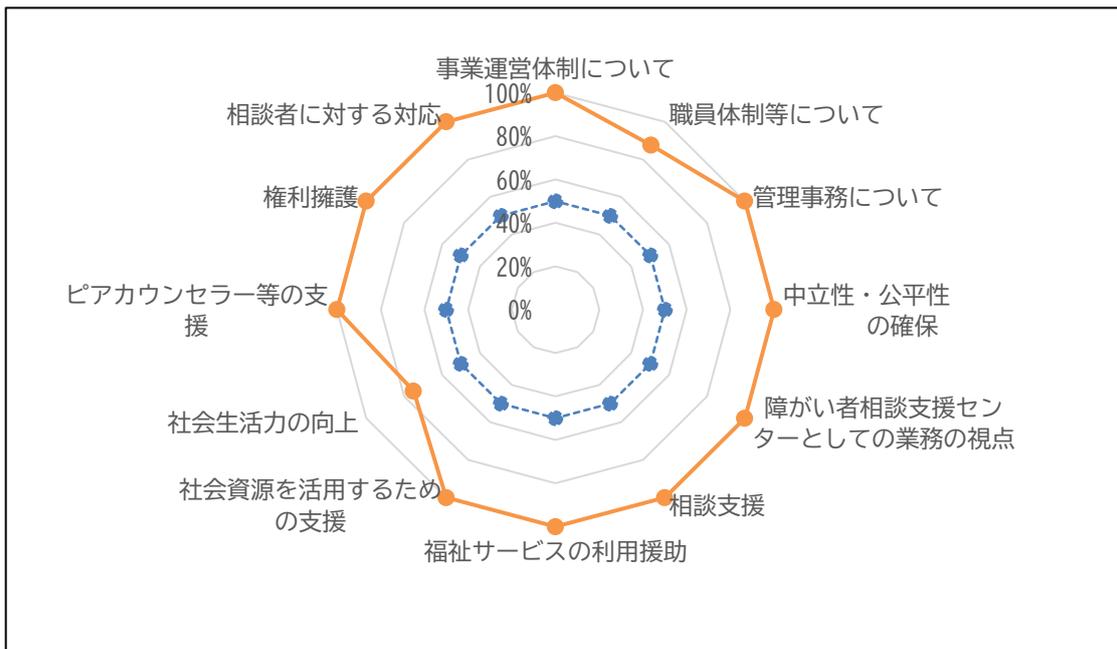
センター名 亥の子谷障がい者相談支援センター

法人名 社会福祉法人 こばと会

評価結果 **優**

理由 同センターは、障がい福祉室の一次評価において、総合点の9割を満たすものであったため、適切に業務を実施し、求められる水準に達していると判断する。

|     |                 |                 |                |                 |
|-----|-----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 総合点 | 組織・運営体制<br>評価点数 | センターの役割<br>評価点数 | 相談支援事業<br>評価点数 | 相談者の満足度<br>評価点数 |
| 70  | 27/28 (点)       | 10/10 (点)       | 27/28 (点)      | 6/6 (点)         |



① 組織・運営体制

精神保健福祉士、社会福祉士、相談支援専門員、事務員と規定より多く職員を配置し、重層的な支援体制を構築できている。個人情報保護に対する基本方針や利用目的を書面で整備し、職員がすぐに確認できる体制が整えられている。研修計画に基づき、内外部の研修に積極的に参加することにより、知識を深め、得た知識については職員全員にフィードバックすることで共有を徹底している。

② センターの役割

医療機関や福祉（CSWや高齢福祉）等の関係機関とネットワークを構築し、地域社会資源をデータとして一元管理することで、利用者のニーズに合った情報を迅速に提供できる環境を整備している。ホームページや広報誌の活用、事業所連絡会や地域の取組に積極的に参加することにより、障がい者相談支援センターの役割を周知および地域の連携強化を図ることができている。

③ 相談支援事業

相談者に対し複数体制で関わることを徹底し、相談支援チームとして主訴の把握、支援方針および支援の具体的方策を協議することで、ニーズに対して的確および適正な対応の実施に努めている。保健・医療・福祉・教育等の関係機関と構築したネットワークにより、課題解決への支援を実施している。

④ 相談者の満足度

苦情・意見・要望に対し迅速に共有・相談を行い、再発防止のための原因分析や改善方法を検討することができており、相談者の声に真摯に向き合う姿勢と意識の高さがうかがえる。

#### ④ 総合的な評価

複数対応による丁寧なアセスメントの徹底、収集した情報の整理および管理、関係機関との適切な連携を以て、細やかな支援を継続して行うことができている。相談件数が増加する中で、常に相談支援に対する意識を高く持ち、適切に業務を実施している。

#### ※ 評価結果の基準

センターの実施計画及び委託相談支援事業仕様書に基づき、書面又は聞き取りによる確認を行い、履行状況の適否を判断する。

○ 実施計画及び委託相談支援事業仕様書を遵守し、適切である。 (2点)

△ 実施計画及び委託相談支援事業仕様書を概ね遵守しているが、一部に課題がある (1点)

× 実施計画及び委託相談支援事業仕様書を遵守しておらず、改善が必要である。 (0点)

総合点の90%以上を「優」、70%以上を「良」、50%以上を「可」、50%未満を「不可」とする。「不可」の結果については、障がい福祉室と協議を実施する。